

令和5年度 上田市立塩田中学校 学校評価

学校目標		学校づくりの理念とめざす生徒の姿	総合評価				
1 充実した学習を積み上げる 2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心を伸ばす 4 豊かな心情を培う	☆生徒のよさを引き出し、可能性を広げる教育 ☆地域と共に歩む開かれた学校～しおだっ子応援団～	・学校づくりの理念の具現化を目指してきた。「生活のきまり」を生徒会により改善した実践をはじめ、様々な取り組みの中で、生徒の考えや願いを大事にし、生徒と教職員が共に相談・検討を重ね、生徒による塩田中づくりを進めてきた。日常生活を大切にすることで、社会的自立のために生徒が自ら選択・判断する力をつけ、さらに生徒のよさを引き出し、可能性を広げる機会を作り出していきたい。 ・コロナ対策が緩和され、「しおだっ子応援団」との交流に加え、学生ボランティアの支援も増やすことができた。直接交流できる機会が多くなり、活動の充実・感謝・貢献したい気持ちが高まった。さらに交流を深め、ふるさとへの愛着と誇りを一層深め、地域づくりに参画できるようにしていきたい。	A	B	C	D	
	＜めざす人間像＞ ふるさとに愛着と誇りをもち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間						
	今年度の重点目標	成果と課題					改善策・向上策
	①自分の思いを表現する力をつける。	○研究テーマ「主体的に学び、自らの考えを表現できる生徒の育成～授業のUD化とICT機器の効果的な活用～」のもと、だれにでもわかりやすいUD化された授業実践をめぐってきたことで、生徒一人一人が課題を明確に把握し、課題解決のために最後まで粘り強く取り組む力が育ってきている。 ▲新型コロナウイルスが緩和され、グループ活動や話し合い活動を取り入れたところ、多くの生徒が自分の考えを表現できていると実感できるようになったが、個人差は大きい。また、生徒の考えや疑問に基づく探究的な学習は、まだ不十分である。 ○あいさつについては、地域の方々から好評の声が多く寄せられている。	○	○			・授業のUD化による「わかりやすい授業」を進めつつ、生徒の考えや疑問に基づく探究的な授業づくりを進める。 ・考えや疑問を伝えることに難しさを感じている生徒にも、ICT機器を効果的に活用し、多様な表現・発表の方法を取り入れ、自己表現する活動を推進していく。 ・あいさつについては、絶賛の声もあれば不十分との声もあり、いつでも、どこでも、誰にでもわかる「あいさつ」ができるよう支援していきたい。
②目標達成のために、最後まで粘り強く取り組む態度を育む。							
③すすんであいさつし、友や地域と共に物事に取り組める。							

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
学校教育	学習指導	課題が明確で生徒が活躍する授業	学習問題が明示され、生徒の活動の場が工夫されているか	○研修を積み重ねUD化を大切に授業づくりを進めたことで、多くの生徒が関心・意欲を持って授業に取り組めた。 ○毎時間、学習問題を明示するようにし、授業もしくは単元ごとに学習範囲を区切って学びを振り返る時間を大切にすることで、生徒一人ひとりが積極的に自分の学びを見返すことができるようになった。 ▲授業とリンクさせ、生徒個々の計画に基づいた家庭学習の見直しを行い、自分で計画を立てて学習できるようにした生徒もいるが、基礎学力向上のための取り組みも必要である。	○	○			・視覚的・具体的・肯定的3視点を大切に、全ての生徒がわかる授業づくりを継続し、学力の向上に努めていく。 ・生徒の振り返りから、次時の課題を見つけて出し、生徒の考えや疑問に基づいた探究的な学びにつながる授業づくりに努める。
		個に応じた学習	個々の生徒への配慮と支援が適切に行われているか	○外部関係機関と連携した課題解決は、かなり進んだが、それぞれの生徒が抱える課題が多様化（SNSの使い方など）しているため、さらに専門機関との連絡を密に行っていく必要がある。		○			・授業やテストにいかされる家庭学習にするために、生徒自身が計画・実施・改善できるよう助言・指導に努めていく。加えて、放課後学習会やテスト前の学習会を実施し、基礎学力向上に努めていく。
		教師の研修	教師の授業準備や授業展開は適切か		○				
		家庭学習の充実	生徒の計画に基づき授業とリンクした家庭学習ができているか			○			
	生徒指導	適切な生徒理解	生徒の話をじっくり聞いて理解しようとしているか	○毎月のいじめ調査や学期ごとの学校適応感尺度アセスをはじめ、生徒の日常の様子などから生徒指導・支援の事案について早期に把握することに努めた。そして、まずは生徒の話を聞き寄り添うことを大事にし、必要なチーム体制をとりながら指導・支援をしてきたことで、生徒に学びある改善が見られるようになった。 ▲外部関係機関と連携した課題解決は、かなり進んだが、それぞれの生徒が抱える課題が多様化（SNSの使い方など）しているため、さらに専門機関との連絡を密に行っていく必要がある。	○				・教育相談やいじめ調査で生徒一人一人との対話を大切にするとともに、学校適応感尺度アセスの結果を客観的にとらえ、チーム体制をとりながら生徒の課題をつかむよう努め、生徒が自己を振り返り学びながらより良い生活を目指していけるよう、指導や支援を粘り強く行っていく。 ・SNSの利用の仕方やそれに関わる問題事案等、地域や保護者・外部専門機関の協力をいただきながら改善に努めていく。（講習会、支援会議の充実）
		生徒に寄り添った支援	状況をふまえた適切な支援が行われているか			○			
		心の内面に入り込んだ指導	個々の良さを認めながら生徒一人一人との対話が行われているか			○			
		状況に応じた生徒の心に落ちる指導	チーム体制で、一貫性のある指導が行われているか			○			
	生活指導	自信をもち、友や地域とつながる挨拶	挨拶の指導目標と手だてを明確にして取り組んでいるか	○生徒の清掃の取り組みを伝える「身学」から、自らの清掃の取り組みを振り返ることで、「気づき」を大切に無言清掃が着実に広がった。		○			・生徒会活動を中心に、引き続き異学年（姉妹学級）が交流し合い、協力し合っていく機会をつくっていく中で、互いの姿から学び合い、本校の良さを引き継いでいけるようにしていく。
		自らを磨く無言清掃と美しい校舎	黙想で始まり時間いっぱい無言で清掃が行われているか	○生徒会や部長会等、生徒同士で挨拶や2分前着席、部活下校遵守等について声を掛け合い、落ち着いた生活を送っている。 ▲さらに生徒主体の学校づくりを進めた。「冬期のセーター着用」について生徒会で規則を改善した事例を自信に、生徒自らが学校生活をより良いものに改善していけるよう支援したい。		○			・さらに、生徒たち自らが、学校生活の中で課題に思うこと改善したいことなどを見つけて出し、互いの考えを出し合い認め合いながら、自主的に取り組んでいけるよう、引き続き支援を行っている。
		けじめのある時間厳守	チャイムで始まりチャイムで終わる授業・活動になっているか			○			
	教育課程	心を響かせる歌声	生徒が主体的に合唱活動に取り組める計画・支援が行われているか	○草取りや花壇作りなどしおだっ子応援団の方のご協力をいただきながら、生徒会を中心に連携を取り活動することで、整備された環境の中で学校生活を送ることができた。 ▲部活動では、さらに生徒の自主的・主体的な活動を通じた自立を目指したい。		○			・引き続き、花壇の整備など、生徒会を中心として、環境ボランティアの方々や連携し、環境美化に努めていく。 ・生徒が自分たちで、練習方法や戦術・表現を考え、工夫していく部活動運営を進めていきたい。
美しさを感じる心を育てる花壇造り		環境ボランティアと連携して花壇運営が計画的にされているか			○			・部活動の地域移行については、「上田市地域クラブ活動推進協議会」に基づいて進めていく。	
心身を鍛え技を磨く部活動		目的意識を持ち、生徒が主体的に取り組む部活運営が行われているか				○			
学校運営	地域との連携	積極的な授業公開と学習支援ボランティアの活用	開かれた授業、地域ボランティアの活用がされているか	○学習（数学等）・環境（花壇）・行事（1年塩田めぐり・2年職場体験）部活動で地域や学生ボランティアの方々へ支援をいただき、充実した活動や学習ができている。また、公民館主催の活動に参加し地域との文化交流も行うことができた。 ○行事の参観や各種通信・ホームページ等で積極的に生徒の活動や校内の様子を見ていただくよう、情報を発信した。 ▲地域・保護者に学校支援ボランティアの様子が十分に理解されていない部分がある。		○			・環境整備や学習支援、文化交流を継続的に行うことで、異年齢の多面的な見方を学び、地域と連携しながら探究的な学びを進められるよう、「総合的な学習の時間」を充実させていく。 ・今後も参観日等で保護者や地域の方に学校の様子を見ていただいたり、ホームページやお便りを通して生徒の活動について積極的な配信に努めていく。
		開かれた学校づくり	学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校からの情報が発信できているか		○				